



大好き！絵本

初瀬 恵美



『みんなでたのしい
クリスマス』

作:トミー・デ・パオラ
訳:みねじま ともこ
出版社:いのちのことば社

今年も残りわずかとなりました。キリスト教保育をおこなっている当園では、イエス様のお誕生を物語にした「聖劇」の取り組みが始まっています。

新型コロナウイルスが流行し始めて2年間無観客でおこなってきた「聖劇」。今年度は、3年ぶりの有観客になりました。しかし以前のように全家庭そろってではなく、2日にわけて年中さんと年長さんの保護者さんに見に来ていただく予定です。YouTube配信やDVDで見することもできますが、以前のようにすべてのご家庭の方と共に「みんなでたのしいクリスマス」が迎えることができることを願って、今月は『みんなでたのしいクリスマス』の絵本をご紹介します。この絵本は、まさしくクリスマス劇(聖劇)をテーマにしています。ナレーターの子の男の子を中心として演じられるクリスマス劇のお話しです。

下の絵をご覧くださいと分かるように、羊の足の下には荷車がついていたり、あかちゃんイエス様が入った人形だつたりするところが、劇らしいですね(笑)。

この絵本はアメリカの絵本作家、トミー・デ・パオラ氏によってつくられました。「世界で最初のクリスマス」のお話をとても親しみやすく紹介してくれています。

当園の聖劇の最後にみんなで「Oh Happy Day!」を歌います。今年の初めから、毎週の礼拝のときに、映画「天使にラブソングを2」の中にでてくる「Oh Happy Day!」の場面を見てきた子どもたちは、耳から聞いた英語の歌詞をノリノリのリズムで本当に楽しそうに歌っています。リハーサルが終わってからの感想も「たのしかったー!」という声が多く、見ているこちらまで楽しく幸せな気持ちにしてくれる子どもたちです。

保護者さんに見に来ていただく日は、緊張してしまうかもしれませんが、楽しく幸せな気持ちで、イエス様のお誕生をお祝いして「みんなでたのしいクリスマス」となるといいなと思います。



お誕生日おめでとう

